

生命科学研究の総合的推進： 日本医療研究開発機構(AMED)に期待する

日時：平成28年7月26日（火曜） 13:00～17:00

場所：日本学術会議 講堂（東京メトロ千代田線乃木坂5番出口徒歩1分）

1部 司会 福田裕穂 東京大学理学系研究科長・教授

13:00 **開会の挨拶** 長野哲雄 東京大学名誉教授、東京大学創薬機構客員教授

13:05 **あいさつ** 和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官、内閣官房健康・医療戦略室長

13:15 **AMEDのミッション：データシェアリングによる研究開発の加速と課題**
末松 誠 日本医療研究開発機構(AMED)理事長

14:00 **オールジャパンでのバイオ医薬品開発**
宮田 敏男 AMED PS, 東北大学医学研究科教授

14:15 **オールジャパンでの医療機器開発**
菊地 眞 AMED PD, 医療機器センター理事長

14:30 休憩

2部 司会 本間さと 北海道大学招聘教授・宮坂信之 東京医科歯科大学名誉教授

14:45 **パネルディスカッション I**

医療開発研究予算の一本化・基礎から実用化までの研究支援体制の成果

- ・森光 敬子 厚労省研究開発振興課長
- ・宮田 敏男 AMED PS
- ・福島 雅典 AMED PO
- ・菱山 豊 AMED執行役
- ・菊地 眞 AMED PD
- ・辻 省次 東京大学医学研究科教授

15:45 **パネルディスカッションII**

研究シーズの連続的創出のための基礎生命科学研究支援のあり方

- ・原 克彦 文科省ライフサイエンス課長
- ・甲斐知恵子 東京大学医科学研究所教授
- ・須田年生 熊本大学国際先端医学研究機構長
- ・菱山 豊 AMED執行役
- ・小原雄治 国立遺伝学研究所特任教授
- ・永井良三 自治医科大学学長

16:45 **総合討論**

16:55 **閉会の挨拶** 本間さと 北海道大学招聘教授

参加費無料

事前申込み不要/先着300名

主催：日本学術会議 第2部 生命科学における公的資金のあり方検討分科会・
日本学術会議 基礎医学委員会・臨床医学委員会 後援：日本医歯薬アカデミー

日本学術会議 第二部「生命科学における公的資金のありかた検討分科会」では、我が国の生命科学領域における研究進展、基盤整備、人材育成などのため、公的資金がどのように配分される必要があるかについて、検討を続けています。生命科学研究領域では、2015年4月に日本医療研究開発機構(AMED)が発足し、公的資金の中で大きな位置を占めるようになりました。平成28年度予算は1500億円を超え、科研費に次ぐ多額の研究開発予算が計上されています。AMEDは、医学関連のトップダウン研究費を一本化した一大Funding Agencyとして多大な期待が寄せられる一方で、一方で、未だ誤解も多いように思われます。AMEDの目指すものが、未だに学術コミュニティに十分理解されていないことが、その原因の1つに考えられます。

そこで、本分科会では、AMEDの理事長に加え、AMEDの基礎から実用化までの連続的な研究支援体制を支えるプロジェクト・ディレクター、プロジェクト・スーパーバイザー、プロジェクト・オフィサーを迎え、AMEDの1年の成果と、AMEDの今後に向けた講演をいただく機会を設けました。さらに、関係省庁の担当者を加え、学術会議会員・連携会員とのパネルディスカッションを行い、学術コミュニティとの意見交換を行う予定です。議論を通し、学術コミュニティから、AMEDの研究支援のあり方について、よりよい提案ができることを目指します。様々な領域の研究者、医療関係者の皆様のご参加をお待ちいたします。